

## 箕筒地区協議会

# 「地域の絆」分科会の活動報告

「地域の絆」分科会は、地域団体や住民へ向け、地域コミュニティへの理解や共助の関係を働きかけるため、「たんす地域の絆プロジェクト」事業を継続的に実施しています。

平成27年度は、多くの地域住民、地域活動団体、企業等にご協力いただき、この「たんす地域の絆プロジェクト」が前進した年になりました。

最初に、「ふれあいひろば」についてです。「たんす緑と花のまちづくりフェア2015」の際には、けん玉やお手玉、折り紙などの「昔遊び」ができるコーナーを設置しました。遊び方を教える「昔遊びの先生」を募集したところ、民生委員・児童委員協議会の協力により、7名の方が参加くださり、「昔の子どもも、今の子どもも一緒に遊びましょう！」というテーマを実現することができました。また「牛込箕筒地域まつり」では、火鉢を置き、暖を取りながら交流を図りました。その際、新宿区社会福祉協議会のボランティアの方々や、地域交流館の職員の方々が運営に協力してくださいました。さらに、地域で養蜂を行なっている方の協力による、蜂の巣から採れる「蜜蝋(ミツロウ)」を使ったロウソクづくり体験コーナーを実施しました。

通算3回目となる「カーブミラー清掃」については、ボランティアの方にもご参加いただき、地域に200本以上ある全てのカーブミラーの清掃を5月に完了させました。

交通安全の啓発に関しては、9月の「たんす花と緑のまちづくりフェア2015」と、1月の「牛込箕筒地域まつり」に、株式会社ホンダカーズ東京中央の協力で「自転車シミュレーター」のコーナーを設けました。子どもも大人も多くのみなさんに「自転車シミュレーター」を体験して頂き、自転車の交通ルールとマナーを楽しく学んでもらいました。

また、10月に牛込第三中学校で開催した地域レクリエーション大会では、牛込警察署と共に、交通安全の啓発物品を配布しました。

2月には、市谷小学校4年生の行うフィールドワークに同行し、通学地域内の危険箇所や、防災や防犯に関する場所や施設を一緒に確認しました。

学習会と視察については、3月に「いざ大地震に備えて」というテーマで、防災関連の学習会、徒歩による避難経路確認と、視察を実施しました。まず牛込箕筒地域センターで、新宿区

危機管理課から講師を迎えてお話をうかがい、次に大規模災害発生時の広域避難場所である後樂園一帯まで歩き、最後に施設に関する説明を受けるなど、盛り沢山の内容で行いました。これからも地域の安全・安心につながる活動を様々な方々や団体と連携しながら、進めていきたいと考えています。